

日本側拠点機関名	京都大学総合博物館
日本側コーディネーター所属・氏名	京都大学総合博物館・教授・本川雅治
研究交流課題名	持続的アジア脊椎動物種多様性研究ネットワークと若手研究者育成
相手国及び拠点機関名	韓国・ソウル大学校 中国・山東大学 ベトナム・ベトナム科学技術院ベトナム国立自然博物館 ラオス・ラオス国立大学 ミャンマー・ヤンゴン大学 タイ・チュラロンコン大学 マレーシア・マラヤ大学 インドネシア・インドネシア科学院生物学研究センター

研究交流計画の目標・概要

【研究交流目標】交流期間(最長3年間)を通じての目標を記入してください。実施計画の基本となります。

本事業はアジア脊椎動物種多様性の持続的研究ネットワークを構築し、若手研究者育成を行うものである。アジア広域での多国間の協力体制やネットワーク構築のために、日本側は京都大学総合博物館が拠点機関となり、韓国、中国、ベトナム、ラオス、ミャンマー、タイ、マレーシア、インドネシアのアジア8カ国の相手国拠点機関と本事業を推進する。日本側、相手国ともに脊椎動物種多様性研究における優れた研究者と、研究の基盤となる学術標本をリソースとした機関であり、同時に本事業に参画し、研究能力の向上と次世代リーダーへの成長を目指す大学院生や若手研究者を有している。脊椎動物種多様性はアジアにおいてきわめて高い一方で、その種分類、分布、系統関係、生態、生活史などの基礎的知見の研究は依然として不十分である。特に国境を越えた広域理解が求められている。また、種多様性は環境変動などに伴い変化するので、継続的な種多様性研究が必要であるが、そのためには世代を超えて持続的に研究者を育成しておくことが必要である。研究の基盤になる学術標本の収蔵体制の構築や共有利用も図りながら、脊椎動物種多様性研究の持続的な多国間ネットワークを各国のトップ大学が中心に構築・維持し、同時に大学院生や若手研究者の育成や研究力向上をはかっていくこと、そのためのプログラム実施を本事業の交流期間における目標とする。

【研究交流計画の概要】 共同研究、セミナー、研究者交流を軸とし、研究交流計画の概要を記入してください。

本事業では、 の共同研究をアジア多国間の枠組みで進める。特に各国の若手研究者の研究テーマをもとに実践的な共同研究プログラムとして、1. 各国の大学院生や若手研究者を2～4週間にわたって日本に招へい、2. 日本の大学院生や若手研究者を2～4週間にわたってアジア相手国に派遣、を計画している。1の招へいについては、共同研究を行いながら、フィールドワーク、標本調査、文献調査、形態学・遺伝学解析、統計解析、研究計画紹介、研究成果発表などを通じて実践的に習得するプログラムを策定する。また、複数の相手国から複数の研究者を同時に招へいすることで、招へい研究者・日本の研究者いずれに対しても多国間ネットワークの意義や必要性について理解を促進することも目指す。大学院生や若手研究者が協力しながら多国間の枠組みでの共同研究を企画・展開するとともに、中堅研究者も研究指導や共同研究推進に参画する。のセミナーとしては、日本および全ての相手国研究者が参加するアジア脊椎動物種多様性国際シンポジウムを、毎年1回アジアにおいて開催し、各国の大学院生や若手研究者が口頭発表を行うとともに、関連企画として調査技術の講習・交流の機会を設定する。拠点国・拠点機関以外のアジアからの参加も推奨することでアジア多国間ネットワークの拡大・発展の機会とする。 の研究者交流は 共同研究と セミナーの一環として行う。



国境を越える, 世代・時代を超える → 若手研究者の育成

持続的アジア脊椎動物種多様性研究多国間ネットワーク

収蔵体制構築
共有利用

ネットワーク構築
若手研究者サポート

研究力の向上
次世代リーダー育成

アジア脊椎動物種多様性国際シンポジウム(年1回)

学術標本

研究者

口頭発表(27名/年)
大学院生/若手研究者

日本



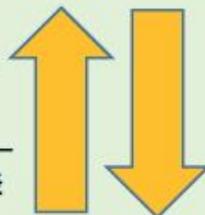
京都大学
総合博物館
理学研究科
人間・環境学研究科
事務部(支援)



大学博物館
リソース

学術標本
+
研究者

若手研究者の招へい
2~4週間(8名/年)
多国間実践的研究トレーニング
フィールドワーク・標本調査
アジア脊椎動物種多様性セミナー
日本の学会大会参加と研究発表



若手研究者のアジア派遣
2~4週間(3名/年)
フィールドワーク
実践による研究力向上
研究セミナーと研究交流

ミャンマー



ヤンゴン大学

タイ



チュラロンコン大学

マレーシア



マラヤ大学
マレーシアサラワク大学

インドネシア



LIPI生物学研究センター

韓国



ソウル大学校

中国



山東大学
広州大学
成都生物研究所

ベトナム



ベトナム国立自然博物館
ハノイ国家自然大学
生態学生物資源研究所

ラオス



ラオス国立大学

アジア8カ国の相手国拠点機関と協力機関